

家庭ごみマイナス100gの取組状況について

1 経緯等

年月	H27.10	H28.5	H28.7	H30.11	R2.8
事項	家庭ごみの有料化について諮問 (市→清掃事業審議会)	家庭ごみの有料化について答申 (清掃事業審議会→市)	家庭ごみの減量の目標値470g設定(※)	家庭ごみマイナス100gの目標期限設定	家庭ごみマイナス100gの目標期限延長
内容	本市のごみ量が、他都市と比較して多いこと等から、他都市で実施され、一定の減量効果のある家庭ごみの有料化について諮問	直ちに家庭ごみの有料化を実施するのではなく、それ以外の施策を積極的に講じるよう要請するが、家庭ごみの減量化・資源化の推進が見られない場合は、有料化の手法を用いるべき	27年度実績570gからマイナス100gの減量 (※) 470g: 有料化している他都市平均	目標の達成期限は令和3年3月までとする	新型コロナウイルスの影響により、想定外のごみ量となったことなどから、目標の達成期限を令和5年3月までに延長する

2 家庭ごみ量の推移とこれまでの主な取組

		年度	H28	H29	H30	R元		R 2	R 3	R 4(9月末)
1 人 1 日 当 た り	家庭ごみ量		555 g	534 g	511 g	511 g	【R元までの取組を踏まえた課題】 (1)関心の薄い市民への意識啓発 (2)生ごみの減量化 (3)古紙類の分別対策 (4)草木類の減量化・資源化	503 g	490 g	488 g
	もやせるごみ		528g	511g	499g	499g		490g	478g	
	生ごみ		42.7%	33.7%	37.8%	33.8%		37.6%	42.6%	
	古紙		12.6%	10.3%	10.1%	9.1%		10.4%	10.6%	
	草木類		13.9%	20.1%	18.2%	23.3%		10.0%	14.2%	
	上記以外		30.8%	35.9%	34.0%	33.8%	41.9%	32.6%		
取 組 内 容	3 R 推進事業	家庭のごみ・資源物の正しい出し方が「ブック」の作成・配布(H30.12月作成)	—	—	全戸配布 28万5千世帯	—	R元までの取組を踏まえ、課題の解決に向けR2より実施	—	—	—
		ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信(H28.11月開始)	3,826回	6,264回	7,514回	8,874回		12,140回	8,986回	4,226回
	資源化推進事業	古紙類の収集	13,673 t	13,250 t	13,348 t	13,599t		13,824t	13,437t	6,450t
		金属類の収集(H30.1月開始)	—	280t	1,740t	2,001t		2,386t	2,218t	1,083t
	ホームフード リサイクルグリーン事業	生ごみ処理機器購入補助	159基	165基	199基	182基		334基	378基	180基
		住民説明会	実施回数	275回	747回	192回		150回	87回	83回
		参加人数	5,126人	16,615人	5,528人	4,597人		2,185人	1,986人	1,218人
	みんなで取り組む ごみ減量PR事業 (※生ごみの減量化・ 古紙の分別の徹底)	テレビCM(放送回数)						102回	78回	83回
		インターネット広告(表示回数)						4,138万回	3,206万回	69万回
	剪定枝資源化事業	みんなで行く家庭ごみ 減量ガイドブックの作成・配布						—	—	4万部
戸別収集						494 t	482 t	239 t		
	剪定枝粉碎機購入補助					217基	96基	27基		